

## IV-2 東北

新型コロナウイルスの影響により東北夏まつりが中止に  
北海道・北東北の縄文遺跡群、世界文化遺産への登録が決定  
東日本大震災から10年。復興道路や震災伝承施設の整備が進む

### (1) 都道府県レベルの旅行者動向

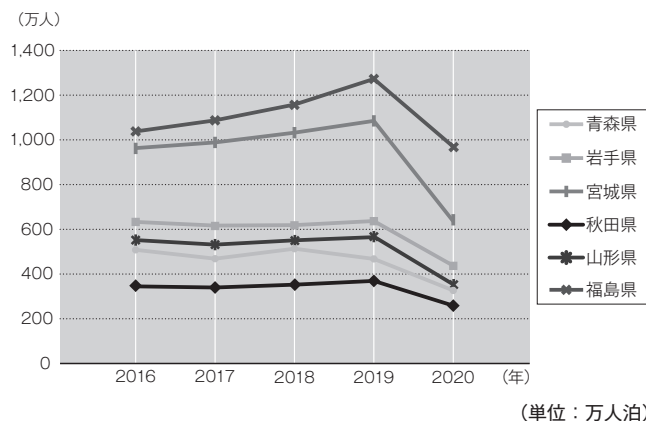
観光庁「宿泊旅行統計調査」によると、2020年1月～12月の東北地方の延べ宿泊者数は2,979万人泊となり、前年比31.8%減少となった(図IV-2-1)。県別にみると、青森県が28.0%減、岩手県が31.3%減、宮城県が39.9%減、秋田県が30.3%減、山形県が36.9%減、福島県が24.7%減となった。

外国人延べ宿泊者数は、49.8万人泊となり73.1%減となった(図IV-2-2)。県別では青森県が78.0%減、岩手県が74.5%減、宮城県が76.7%減、秋田県が81.8%減、山形県が62.6%減、福島県が59.2%減となった。

2019年は東北6県でのトップセールスやプロモーション、国際定期便の新規就航やチャーター便の増加などにより、東北6県の外国人延べ宿泊者数目標150万人泊(2020年)を1年前倒しで達成したものの、2020年は新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて大きな減少となった。

一方で、東北は延べ宿泊者数、外国人延べ宿泊者数ともに、地方ブロック別では最も低い減少率となった。

図IV-2-1 延べ宿泊者数の推移(東北)

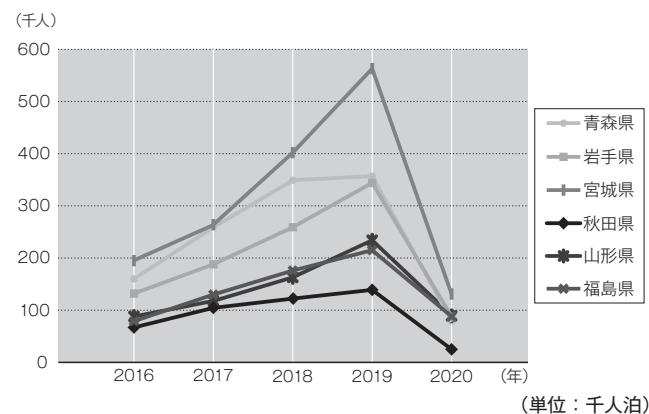


緊急事態宣言が解除された夏季には、「あおり宿泊キャンペーン」「秋田県プレミアム飲食券・宿泊券」「岩手に泊まるなら地元割クーポン」など、東北各県で宿泊割引キャンペーンが実施された(表IV-2-1)。

また、(一社)東北観光推進機構は、コロナ禍で観光需要の早期回復を目指し、東北・新潟にお住まいの方々が域内の魅力を再発見し、相互に訪問し合うことを目的とした「東北・新潟応援！絆キャンペーン ～旅を楽しもう～」を自治体や関係事業者とともに2020年7月から実施。特設サイトを開設し、キャンペーンと連動した旅行商品や特集記事などを掲載した他、「新しい旅の様式」を推進するため、マスクケースの制作・配布などを行った。

また、2021年4月から開始された「東北デスティネーションキャンペーン」(東北DC)に向けて、東北DC推進協議会とJR東日本による共同記者会見を実施した他、域内外の方に応援していただく「TOHOKU サポーター」(東北6県にお住まいの方を対象としたWelcome to TOHOKU隊と東北6県以外にお住まいの方を対象としたTOHOKU Fanで構成)の募集を2020年10月から開始した。

図IV-2-2 外国人延べ宿泊者数の推移(東北)



表IV-2-1 コロナ禍における東北各県の主な宿泊割引キャンペーン

県名	キャンペーン名	対象	利用期間	キャンペーン概要
青森県	泊まって応援、旅して発見！「あおり宿泊キャンペーン」	県民	2020年7月10日～2021年3月12日	1人1泊当たり5,500円(税込み)割引 ※2連泊まで可。1人何回でも可
秋田県	秋田県プレミアム飲食券・宿泊券	県民	(販売)2020年6月3日～6月12日、 6月22日～7月3日 (利用)～2021年2月28日	宿泊券は、額面5,000円のを2,500円で販売(プレミアム率100%)、発行数は40万枚、1人5枚まで購入可能。 飲食券は、額面1,000円のを700円で販売、発行数は355万枚、1人12枚まで購入可能
岩手県	岩手に泊まるなら地元割引クーポン	県民	2020年7月11日～8月9日(応募期間)	2,000円分の割引クーポン券をプレゼント、20万枚発行
岩手県	岩手に泊まるなら地元割引クーポン	県民	2020年10月1日～2021年3月7日	3,000円分の割引クーポン券をプレゼント、15万枚発行
岩手県	おでんせ岩手券	岩手県を除く、青森県・宮城県・秋田県・山形県・福島県・新潟県民向け	クーポン受け取り後～2021年3月7日	岩手県内の宿泊施設で使える3,000円分のクーポン
宮城県	せんだい・みやぎ絆の宿泊キャンペーン(宮城県ふっこう割)	県民	(第1弾)2020年7月8日～8月30日 (第2弾) 2020年11月13日～2021年1月31日	宿泊最大半額(1人1泊5,000円迄)
宮城県	仙台・宮城すずめのお宿キャンペーン	東北6県と新潟県在住者	2020年9月1日～2021年1月31日	宮城県内の小規模宿泊施設を利用する際に1人1泊当たり宿泊費の2分の1を割引
山形県	県民泊まって応援キャンペーン	県民	(第1弾)2020年5月15日～5月31日 (第2弾)2020年6月15日～6月28日	1万円以上の宿泊プランで5,000円の割引クーポン
山形県	県民県内お出かけキャンペーン	県民	(第1弾)2020年5月15日～ (第2弾)2020年7月2日～	2,000円分のクーポンを1,000円で販売
山形県	県民泊まって元気キャンペーン	県民	2020年7月10日～2021年12月31日	1枚1,000円分の割引クーポンを500円で発行
福島県	福島県民限定ふっこう割	県民	2020年6月1日～2021年3月30日	7,000円以上の旅行に対して5,000円割引(一人1泊あたり)

出典：各キャンペーン公式サイトを元に(公財)日本交通公社作成

(2) 観光地の主要な動き

① 地方・都道府県レベル

● 東北のまつりの動向

2020年の東北各県の代表的な夏まつり(6件)は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、全て中止となった(福島わらじまつりは神事のみ実施)(表IV-2-2)。その一方で、オンライン等による代替イベントを行った地域もみられた。

オンライン青森夏まつり実行委員会は、青森ねぶた祭のみならず各地域のおまつりが中止になったことをふまえ、「#オンライン青森夏まつり」を2020年7月31日から8月2日にかけて開催。「お祭りメインステージ」と6つの「青森まるごと体感ブース」によって構成され、ZoomやYouTube Liveを活用し、青森四大祭りの祭囃子リレーやアマビエねぶた製作体験、青森シールドに合わせたおつまみを作る料理教室などが配信された。

青森ねぶた祭実行委員会事務局は、ねぶた制作者支援のため、ねぶた師14名の合作による特別ねぶたを制作するプロジェクトを実施。約1,950万円の支援が集まった。完成した特別ねぶたは、2020年12月から「ねぶたの家ワ・ラッセ」で展示されたほか、次回開催する青森ねぶた祭で運行される。

盛岡さんさ踊り実行委員会は、それぞれのさんさ踊りや

メッセージ動画を投稿していただく「さんさでつながるプロジェクト」を実施した他、盛岡青年会議所は8月1日に「盛岡さんさ踊り2020 with コロナバージョン ～もりおかの想いを今、夏の夜空に～」を開催し、26団体が投稿した動画を編集したもののや、打ち上げ花火のライブ映像などを配信した。

東北絆まつりは、2020年は中止となったが、2021年は5月22日・23日の2日間にわたって山形市で開催された(表IV-2-3)。新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、パレードやブースの出店を取りやめ、山形市役所屋外エリアで東北6祭りの山車や楽器、衣装などを集めた特別展示を行った他、学生たちによる「絆の火を灯す！竹あかりプロジェクト」、震災復興・コロナ収束への願いや医療従事者への感謝の気持ちを込めた、ブルーインパルスによる展示飛行などを実施した。

● LCCの新規就航

仙台空港では、Peachによる仙台～沖縄線が2020年10月に、仙台～中部線が2020年12月に新規就航した。仙台～沖縄線は東北地方と沖縄を結ぶ初めてのLCCとなる。

また、いわて花巻空港では、いわて花巻～神戸線が2021年3月に新規就航した。

表IV-2-2 東北夏祭りの来場者数

祭事名	開催地	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
青森ねぶた祭	青森県青森市	282万人	285万人	259万人	269万人	276万人	282万人	280万人	285万人	中止
盛岡さんさ踊り	岩手県盛岡市	122万人	130万人	137万人	139万人	126万人	134万人	133万人	149万人	中止
仙台七夕まつり	宮城県仙台市	200万人	206万人	204万人	218万人	228万人	179万人	203万人	225万人	中止
秋田竿燈まつり	秋田県秋田市	139万人	141万人	126万人	140万人	132万人	131万人	130万人	131万人	中止
山形花笠まつり	山形県山形市	100万人	90万人	63万人	98万人	100万人	99万人	97万人	98万人	中止
福島わらじまつり	福島県福島市	25万人	24万人	25万人	26万人	26万人	28万人	29万人	30万人	中止

資料：各種資料をもとに(公財)日本交通公社作成

表IV-2-3 東北六魂祭、東北絆まつりの開催概要

	東北六魂祭						東北絆まつり				
	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
開催地	宮城県仙台市	岩手県盛岡市	福島県福島市	山形県山形市	秋田県秋田市	青森県青森市	宮城県仙台市	岩手県盛岡市	福島県福島市		山形県山形市
開催日程	7月16日(土) 17日(日)	5月26日(土) 27日(日)	6月1日(土) 2日(日)	5月24日(土) 25日(日)	5月30日(土) 31日(日)	6月25日(土) 26日(日)	6月10日(土) 11日(日)	6月2日(土) 3日(日)	6月1日(土) 2日(日)	新型コロナウイルス感染拡大のため中止	5月22日(土) 23日(日)
来場者数	約37万人	約24万人	約25万人	約26万人	約26万人	約27万人	約45万人	約30万人	約31万人		—
経済効果	約103億円	約22億円	約37億円	約25億円	約31億円	約29億円	約44億円	データ無し	約42億円		—

資料:各種資料をもとに(公財)日本交通公社作成

## ●東日本大震災から10年

2021年3月で、東日本大震災発生から10年が経過した。2020年度から2021年度にかけては、東北のみならずさまざまな組織や団体による関連事業が行われた。2018年に設立された震災伝承ネットワーク協議会は、「教訓が、いのちを救う」をキーワードに、東日本大震災の事実や記憶、経験や教訓を伝える「震災伝承施設」などをネットワーク化し、防災に関する「学び」や「備え」を国内外に発信することで震災を風化させず、後世に伝える「3.11伝承ロード」の形成を進めている。「震災伝承施設」は、災害の教訓が理解できるもの、災害時の防災に貢献できるものといった5つの要件のいずれかに該当する施設や構造物等を3分類にわけて登録。2021年7月現在で288件が登録されている(表IV-2-4)。

特に2019年頃より各地域での震災の経験を伝える施設である「伝承館」が相次いでオープンしている(表IV-2-5)。2020年9月に開館した「東日本大震災・原子力災害伝承館」(福島県双

葉町)は、原子力災害の複合災害を経験した記録や教訓と、そこから着実に復興する過程を収集・保存・研究し、世界や後世に継承・発信することを目的としている。福島県が収集してきた震災・原発事故関連資料のうち、167点を展示しているほか、フィールドワークや語り部講話などを組み合わせた研修プログラムも用意している。

また、「いわき震災伝承みらい館」(2020年5月、福島県いわき市)では、発災から現在に至るまでの様子を紹介したパネルや、卒業式当日に被害にあった「旧いわき市立豊間中学校」の黒板・学習机の実物が展示されている他、校舎を襲う津波のVR体験ができる。

東北経済連合会と東北地域づくり協会によって設立された(一財)3.11伝承ロード推進機構は、2021年2月11日から3月3日にかけて観光庁誘客多角化等のための滞在コンテンツ造成実証事業の一環として、「3.11伝承ロード」をめぐる日帰りバスツアーを実施した。

表IV-2-4 震災伝承施設の概要

分類	内容	青森	岩手	宮城	福島	計
第1分類	下記の項目のいずれか一つ以上に該当する施設。 ・災害の教訓が理解できるもの ・災害時の防災に貢献できるもの ・災害の恐怖や自然の畏怖(いふ)を理解できるもの ・災害における歴史的・学術的価値があるもの ・その他、災害の実情や教訓の伝承と認められるもの	4	68	73	5	150
第2分類	第1分類の条件を満たし、かつ、公共交通機関等の利便性が高い、近隣に有料又は無料の駐車場がある等、来訪者が訪問しやすい施設。	2	27	31	23	83
第3分類	第2分類の条件を満たし、かつ、案内員の配置や語り部活動等、来訪者の理解しやすさに配慮している施設。	1	18	25	11	55
	計	7	113	129	39	288

資料:震災伝承ネットワーク協議会事務局サイト、プレスリリースをもとに(公財)日本交通公社作成

表IV-2-5 2020年度以降に開館した主な伝承館

名称	開館年月	場所	施設概要
みやぎ東日本大震災津波伝承館	2021年6月	宮城県石巻市	「かけがえない命を守るために、未来へと記憶を届ける場」というコンセプトのもと、県内の震災伝承施設等へ誘うゲートウェイ(玄関口)の役割を果たす施設として開設。震災の概要や復興に向けた取り組みなどを紹介するパネル展示の他、シアターや語り部の証言など映像で学べる設備も豊富。石巻南浜津波復興祈念公園内に立地。平屋建て、延床面積は1,520㎡。
東日本大震災・原子力災害伝承館	2020年9月	福島県双葉町	特に福島だけが経験した原子力災害を伝えるため、複合災害の記録や教訓とそこから着実に復興する過程を収集・保存・研究し、風化させず後世に継承・発信し世界と共有することを目的に設置。福島県が収集してきた震災・原発事故関連資料のうち、167点を展示。地上3階建て、延床面積5256㎡。
いわき震災伝承みらい館	2020年5月	福島県いわき市	未曾有の複合災害に見舞われた、いわき市の震災経験を改めて捉えなおし、震災の記憶や教訓を風化させず確実に後世へと伝えていくことを目的に設置。発災から現在に至るまでのパネルや、卒業式当日に被害にあった「旧いわき市立豊間中学校」の黒板・学習机の実物が展示されている他、校舎を襲う津波のVR体験ができる。地上2階建て延床面積546㎡。
名取市震災復興伝承館	2020年5月	宮城県名取市	東日本大震災の記憶や教訓を世界や後世に伝承し、防災意識を醸成することを目的としている。館内は展示スペース、シアタールーム、コミュニティスペースに分かれている。木造平屋建て、延床面積約300㎡。

資料:各施設サイトをもとに(公財)日本交通公社作成



### ●(公社)日本観光振興協会と(一社)東北観光推進機構が東北の観光振興に係る事業連携協定を締結

2021年3月、東日本大震災から10年が経過した東北において震災とコロナ禍からの復興と地域経済の活性化に資するため、(公社)日本観光振興協会と(一社)東北観光推進機構が東北の観光振興に係る事業連携協定を締結した。同協会の東北支部事務局を、同機構の推進本部内に設置した他、国内外における東北プロモーション、観光人財育成における共同事業などを実施する。

### ●北海道・北東北の縄文遺跡群(北海道、青森、秋田、岩手の4道県の17史跡)、世界遺産への登録が決定

2021年7月、ユネスコ世界遺産委員会は、「北海道・北東北の縄文遺跡群」を世界文化遺産へ登録することを決定した。日本最大級の縄文集落跡である三内丸山遺跡の他、遮光器土偶が出土した亀ヶ岡石器時代遺跡、4つの環状列石が集中している伊勢堂岱遺跡など、北海道、青森、秋田、岩手県に点在する17史跡で構成される(表IV-2-6)。本資産は、「先史時代における農耕を伴わない定住社会及び複雑な精神文化を示している」「定住社会の発展段階や様々な環境変化への適応を示している」という2点が評価されたものである。紀元前の遺跡は世界遺産でも数が少なく、国内では初めての登録となる。

JR東日本では、五能線を走る観光列車「リゾートしらかみ青池編成」において、車両の窓と一体化した透過型ディスプレイ「e-モーションウインドウ」に秋田・津軽エリアの三内丸山遺跡や亀ヶ岡石器時代遺跡、伊勢堂岱遺跡の情報を新たに加えた。また、秋田内陸縦貫鉄道は、縄文遺跡をイメージしたデザインの観光列車「秋田縄文号」を2月に発表。6月から8月にかけては、「秋田縄文号」に乗って伊勢堂岱遺跡を見学する日帰りのイベントを実施した。

表IV-2-6 北海道・北東北の縄文遺跡群の構成資産

名称	概要	所在地
史跡 垣ノ島遺跡	居住域と墓域の分離を示す集落跡	北海道函館市
史跡 北黄金貝塚	内浦湾に面した大規模な貝塚を伴う集落跡	北海道伊達市
史跡 大船遺跡	祭祀場が発達した拠点集落跡	北海道函館市
史跡 キウス周堤墓群	高い土手で囲まれた共同墓地	北海道千歳市
史跡 入江・高砂貝塚(高砂貝塚)	内浦湾に面した共同墓地	北海道洞爺湖町
史跡 入江・高砂貝塚(入江貝塚)	共同の祭祀場や墓地を支えた集落跡	北海道洞爺湖町
史跡 大森勝山遺跡	岩木山麓につくられた大規模な環状列石	青森県弘前市
史跡 亀ヶ岡石器時代遺跡	芸術性豊かな土偶や多彩な副葬品が出土した共同墓地	青森県つがる市
史跡 是川石器時代遺跡	竪穴建物・土坑墓・水場・捨て場などを伴う集落跡	青森県八戸市
史跡 大平山元遺跡	縄文時代のはじまりを示す遺跡	青森県外ヶ浜町
史跡 田小屋野貝塚	古十三湖に面した貝塚を伴う集落跡	青森県つがる市
史跡 二ツ森貝塚	海水性及び汽水性の貝塚が環境の変化を表す集落跡	青森県七戸町
特別史跡 三内丸山遺跡	多様な施設で構成される大規模な拠点集落	青森県青森市
史跡 小牧野遺跡	複雑な配石構造を持つ大規模な環状列石	青森県青森市
史跡 御所野遺跡	墓域と祭祀場を中心とした拠点集落	岩手県一戸町
史跡 伊勢堂岱遺跡	4つの環状列石が集中した祭祀遺跡	秋田県北秋田市
特別史跡 大湯環状列石	規則的な構造を示す2つの環状列石	秋田県鹿角市

資料: JOMON ARCHIVES を元に(公財)日本交通公社作成

### ●復興道路・復興支援道路の全線開通に向けた整備

国土交通省では、震災復興のリーディングプロジェクトとして八戸から仙台までの沿岸を結ぶ復興道路(三陸沿岸道路)と、東西を横断する4本の復興支援道路、約570kmの高速道路を10年で全線開通させることを目標に震災直後から整備を進めてきた。復興道路が開通することで、八戸～仙台間が3時間10分短縮され、4時間25分となる。

2020年度、復興道路は、青森県から岩手県にかけての階上～洋野種市(2020年12月、7km)、岩手県内の洋野種市～侍浜(2021年3月、16km)、普代～尾肝要(2020年12月、8km)、尾肝要～田野畑南(2021年7月、6km)、宮城県内の気仙沼港IC～唐桑半島IC(2021年3月、7km)、小泉海岸IC～本吉津谷IC(2020年11月、2km)が開通した。気仙沼港IC～唐桑半島IC間の気仙沼港ICから浦島大島ICをつなぐ「気仙沼湾横断橋」(愛称かなえおおはし)は全長1,344mで、塔から斜めに張ったケーブルで主桁を支える斜張橋としては東北最長となる。気仙沼市内湾地区では、カフェや飲食店などが入る「迎(ムカエル)」、「結(ユワエル)」、「拓(ヒラケル)」、気仙沼市まち・ひと・しごと交流プラザ「創(ウマレル)」の4施設から成る観光商業施設「ないわん」がオープンした(2020年7月)。

復興支援道路のうち、宮古盛岡横断道路は2021年3月に延長約66kmの全区間が開通となった。また、東北中央自動車道は、2021年4月に相馬～福島の延長45kmが全線開通となった。

### ②広域・市区町村レベル

#### ●復興五輪の開催

東日本大震災に際して、世界中から頂いた支援への感謝や、復興しつつある被災地の姿を世界に伝えること、国内外の方々に被災地や復興についての理解・共感を深めていただくことで復興を後押しすることを主眼とした2020年東京オリンピック・パラリンピックであったが、新型コロナウイルスの影響により2021年に開催が延期された。東北で開催されたのはソフトボール(福島あづま球場、6試合)、野球(福島あづま球場、1試合)、サッカー(宮城スタジアム、10試合)の3種目となった。

#### ●コロナ禍での温泉地の取り組み

山形県のDMC天童温泉は、宿泊者を対象に「朝摘みさくらんぼツアー」を実施しているが、コロナ禍では休館となった宿泊施設のスタッフが農家でさくらんぼの収穫を支援する取り組みを行った。さくらんぼ狩りもキャンセルが相次いだ、収穫したさくらんぼはふるさと納税の返礼品として活用された。天童温泉は、地域資源を有効活用し、地域住民と一体となった観光コンテンツの造成や観光誘客に努めたことが評価され、温泉地情報サイト「温泉総選挙2020」において観光庁長官賞を受賞した。

#### ●観光地域づくり法人(DMO)の新規登録と取り消し

2020年度は、(公財)さんりく基金、(一社)石巻圏観光推進機構、(一社)あきた白神ツアーリズム、(一社)秋田県観光連盟の4件が地域連携DMOとして登録され、(一社)男鹿市観光協会、(一社)花巻観光協会、(一社)横手市観光推進機構、(一社)

福島市観光コンベンション協会、(一財)会津若松観光ビューローの5件が地域DMOとして登録された。

一方で2020年4月に公表された「観光地域づくり法人の登録制度に関するガイドライン」に基づき、候補DMOであった(一財)ブナの里白神公社(青森県西目屋村)、トラベルデザイン(株)(秋田県羽後町)、(特非)土湯温泉観光まちづくり協議会(福島県福島市)などは、役割の見直しやエリア内の他組織との会員の重複や人材不足などから登録の取り消しがおこなわれた。

#### ●(一社)Clan PEONY 津軽の設立

青森県弘前市など、津軽圏域の14市町村で構成される(一社)Clan PEONY 津軽(地域連携DMO)が2020年4月に設立された。「住民と観光客との交流により10年後・20年後も選ばれる津軽地域」「地域の「つなぎ役」として民間事業者・地域住民の力を生かす組織」「協力・連携しつつもそれぞれの役割はしっかり果たす」の3つを掲げている。

#### ●「弘前れんが倉庫美術館」がオープン

弘前市の近代産業遺産である元シールドル工場「吉野町煉瓦倉庫」をリノベーションした「弘前れんが倉庫美術館」が2020年7月にオープンした。「記憶の継承」と「風景の創生」をコンセプトに、芸術文化創造の拠点として整備された弘前市初の公立美術館である。3,089㎡の延床面積があり、館内には5つの展示室の他に3つのスタジオ、市民ギャラリー、ライブラリースペース、カフェ・ショップ、シールドル工房がある。

#### ●「宮城県 松島離宮」がオープン

2020年10月、マリンピア松島水族館跡地に「宮城県 松島離宮」がオープンした。延床面積は約2,470㎡。松島の景観との調和を図るために黒を基調とした施設内には宮城県松島離宮博物館や屋上庭園、飲食店、土産物店、離宮ホール、離宮庭園などがある。体験型観光の拠点としても位置付けられ、こけし絵付けや化石アート体験などが日替わりで楽しめる。総工費は約17億円。

(福永香織)